

第21回東日本運転協定期委員会開催！

東日本運転協議会は2009年10月16日、交通ビル3F・会議室において、第21回定期委員会を開催致しました。

定期委員会は後藤事務長の司会で始まり、資格審査で委員・役員全員の参加を確認して定期委員会が成立していることを確認しました。その後、座長に東京・林委員を選出し、進行しました。

東日本運転協議会を代表して木立議長から挨拶、

- ① 昨年の定期委員会以降、世界・日本の政治・経済情勢が激変してきた。これらに対して、政治の無策が労働者・国民の生活を困窮させ、そのことが政権交代の土台となった。
- ② J Rの中をみても、昨年秋から社員・関連労働者の死傷事故が相次ぎ発生し非常事態宣言も出されたが、現在もその状況は続いている。これは、会社側の合理化による仕事丸投げ外注化施策やコンプライアンスの欠如によることが大きな要因となっていること。



- ③ 今職場で話題となっている検修業務の外注化問題の現状と取組みについて
(イ) 安全な車両を提供していく立場で取組む。

(ロ) 外注化に反対する他労組組合員を巻き込み要求の多数派となる。

以上の挨拶がありました。

来賓として東日本本部より松井書記長・武笠執行委員、運転協議会全国連絡会より岡野事務長が参加して頂きました。

東日本本部代表して松井書記長から

- ① 1047名不採用問題では8月の衆議院総選挙で民主党を中心とした民主・社民・国民新党連立内閣が発足し、情勢が変わってきた感はあるが、さらに運動を積み上げていくこと。
- ② 組織拡大では、本日長野で組織拡大報告があり、大会後初の拡大報告となる、連続した拡大は続いている、引き続き奮闘していく。
- ③ 期末手当の申し入れ時期が来ているが、日本全体を覆っている不況の中、J Rも例外ではなく収入がJ R発足後最大の落ち込みとなる予想が出ている中で、東日本本部としては、本部とも連携をとりながら業務部長会議に要求案を提起していく。

- ④ 検修の外注化問題は、本社は現在勉強中との話があるなどの発言を受けました。

また、運転協全国連絡会・岡野事務長の方からは

- ① 9月26日～28日で行われた「総会」、「交流会」への東日本運転協へのご協へのお礼。

- ② 昨年職場実態調査アンケートに取組みを今年の交流会で結果を発表したが、このことが国鉄新聞・国労文化に掲載されることになった。

- ③ J R西日本で起きた福知山線脱線事故に関して会社幹部と鉄道事故調査委員との馴れ合い問題について国労西日本本部の申し入れと三組合連名での声明を発表してきた。

- ④ 交流会の講師として講演していただいた関西大学・阿部教授が述べていた、保安設備・余裕あるダイヤ・罰則主義・一方的命令・安全に対する姿勢等についてJ R各社は問われている。

- ⑤ 全国連絡会として学習・交流会にさらに力を入れていく。

などの挨拶がありました。

東日本工作協議会からは、車両メンテに携わる立場から運転協議会ともども安全な車両を提供し



ていく運動を連携して前進させましょうという連帯するメッセージがありました。
経過報告と運動方針(案)を一括して木立議長から行い、その後質疑応答に移りました。各委員・役員からは取組んできた運動や問題点が出され、活発な議論がなされました。

主な発言は、

- (1)職場で傷害事故が発生したが、その後C S会議が頻繁に行われた。分会が要求した対策も行われた。
- (2)新幹線新青森駅開業の時期が迫ってきているが、職場ではアンケート調査が実施され希望調査も行われ。まだ明確になっていない要員配置で職場では不安の声が日に日に高まっている。
- (3)指令のレベル低下がはなはだしい、何とかしてほしい。
- (4)事故等で駅間で停車したとき、乗客の降車は何分後から行うのか、判断を示してほしい。ケースバイケースでは判断しにくい。
- (5)検修業務の外注化問題では、職場でうわさが先行している。他労組組合員の中には諦めから会社へ擦り寄っている姿も見受けられる。
- (6)遠距離通勤問題では、戻る順番を見ればまだ差別されている。
- (7)水戸動労のストライキがこの間3回あった。代替要員として少人数の国労にきている。
- (8)インフルエンザ対策では、是非法定伝染病扱いしてほしい。
- (9)首都圏では運転士の「ライフサイクルの深度化」で2回発令があった。発令者の傾向について検証している。

など、多数の活発な意見・質問が出されました。

これを受けて、エリア本部・松井書記長よりエリアに関わる部分について答弁をして頂きました。

その後、役員改選に移り、今年の役員体制について参加者全員の拍手で確認。

今年は、新潟・高崎で議長交代があり、2名の副議長交代からご挨拶を受けました。

役員体制は以下の通りです

役員名	地方名	氏 名	年齢	勤 務 先	職 名
議 長	東 京	木 立 幸 夫	53歳	鶴見線営業所	車両技術係
副議長	秋 田	須 田 政 博	56歳	秋田車両センタ	車両技術係
副議長	盛 岡	佐 藤 英 雄	52歳	一関運輸区	車両技術係
副議長	仙 台	三 塚 昇	53歳	小牛田運輸区	車両係
副議長	高 崎	清 水 輝 夫	51歳	高崎運輸区	運転士
副議長	新 潟	石 津 淳 二	52歳	新津運輸区	車両技術主
副議長	長 野	坂 本 保	51歳	松本車両センタ	車両技術係
副議長	水 戸	菊 池 輝 雄	50歳	勝田車両センタ	事務係
副議長	千 葉	宇 井 太	52歳	幕張車両センタ	車両技術係
副議長	東 京	中 里 豊 樹	52歳	田端運転所	運転士
事務長	東 京	後 藤 征 二	56歳	中野電車区	運転士
会 計 監	東 京	緑 川 浩	49歳	八王子運輸区	運転士



定期委員会参加の皆さんお疲れ様でした、今後一年間運動への協力をよろしくお願い致します！